

おきたま 米づくり情報 高温対策緊急号

出穂早い！走り穂見えます！ 田んぼに花水を入れましょう！

今後も猛暑が続く予報

7月27日発表の1か月予報（7月29日～8月28日）では、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。また、2週間気温予報によると、**猛烈な暑さが今週末以降も続くと予想されています。**



出穂後は湛水管理！

○高温が続く、出穂が平年より2～3日早まっています。

走り穂が見え始めています。出穂を確認したら、田んぼに花水を入れましょう。穂揃期頃は最も水分を必要とする時期です。湛水状態とし水を切らさないようにしましょう。

※農業用水の供給状況に合わせ、効率的な水管理に努めましょう。

○出穂後高温が続くと、胴割粒や白未熟粒の発生による品質低下が懸念されます。**高温時は水を動かし水田の水温と地温を下げるような水管理、または飽水管理で根の活力を維持する水管理に努めましょう。**

斑点米カメムシ類対策は地域一斉防除で！

○斑点米カメムシ類防除の基本は、「穂揃期」+「穂揃期」の7～10日後の2回です。適期防除を実践しましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ アカスジカスミカメ

「穂いもち注意報」発表！

○出穂直後の穂は、特にいもち病に感染しやすいため、防除の徹底が重要です。
○基本防除は「穂孕後期」と「穂揃期」の2回、適期を逃さず、必ず実施しましょう。

農作業事故・熱中症に注意しましょう！